

平成20年度 岐阜県治山・林道研究発表会を開催しました

受賞発表課題・発表者

■治山の部

	発表課題	発表者(敬称略)
最優秀	森林土木効率化等技術開発モデル事業 (落石対策技術開発業務)中間報告 ～落石調査手法の確立に向けて～	飛騨農林事務所 瀧澤 嘉男
優秀	治山事業に対する県民理解を促進するための一考察 ～夏休み子供のための治山工事見学会～	恵那農林事務所 長谷川 恵治
優秀	ロジットモデルを活用した森林斜面危険度評価	治山課 安藤 亜紀

■林道の部

	発表課題	発表者(敬称略)
最優秀	森林施業促進を目指した路網情報マップの 作成について	東濃農林事務所 長澤 康弘
優秀	集材作業性向上にむけた林道設計 (防護柵設置の検討)	郡上農林事務所 山岸 勇幸 根崎 浩和 神戸 努
優秀	平成20年9月2～3日豪雨災害による 林道被害について	揖斐農林事務所 大塚 正宏

平成20年度岐阜県治山・林道研究発表会を約170名の参加のもと、2月25日に関市わかさプラザ多目的ホールにおいて開催しました。

本会は、治山、林道事業に携わる県や市町村などの職員が、現場の中に課題を見つけ、調査、検討した結果を発表するものです。

発表終了後には、審査委員長である木村岐阜大学教授から発表の今後の方向性、改善点等の講評をいただき、最優秀、優秀課題の表彰を行って本会を終了いたしました。

治山・林道写真コンクール

●治山部門 「災害発生後の森林への復旧」

最優秀作品 飛騨農林事務所 坂下 一秀



●林道部門

最優秀作品

「市場までは遠回りしないと…」

飛騨農林事務所
野田 昌吾



中部地区森づくり活動プランナー養成 ブロック研修を開催しました

(社)岐阜県緑化推進委員会では、平成21年2月6日から8日まで森林文化アカデミー「森の情報センター」(美濃市曾代)において、中部9県で森づくり活動に取り組んでいる森林ボランティアやNPO団体のリーダー等による「森づくり活動プランナー養成ブロック研修」を開催しました。

この研修は、森づくり活動を行うために必要な「調整力」や、企業や学校、NPO等さまざまな人たちの参加を呼びかけるための「企画力」の習得を目指す研修として、中部9県の緑化推進委員会から推薦を受けた18名の参加を得て実施されました。研修では、「飛越源流の森づくり」(ドングリの会)、「森林の再生と水質保全」(奥矢作森林塾)、「長良川森の健康診断in郡上市」(実行委員会)、「山里の聞き書き」(山里文化研究所)の事例紹介をそれぞれの団体から行っていただきました。



▲成果発表の様子

また、県内のNPO・大学等で活躍されている5名をファシリテーターとして招き、この事例を基に4グループに分かれワークショップを行いました。

- 内容は、①「研修の目的と課題の共有」
②「参加者の活動紹介と課題の抽出」
③「事例紹介の分析と自己課題への結びつけ」
④「魅力的な企画にするための課題解決に向けて」

最後に各グループから成果発表を行い、3日間の研修を終了しました。多数の参加者から、「期待していた以上の成果が得られた」、「帰ったら実践に移そう」などといった感想をいただきました。【(社)岐阜県緑化推進委員会 事務局長 佐藤正吉】